

ヘリコプターテレビシステムを活用した被災状況等の迅速な情報収集

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概要 要：青森県東方沖を震源とする地震において、5か年加速化対策により整備したヘリコプターテレビシステムにより、警察用航空機が撮影した被災状況の確認を行うとともに、撮影した映像をリアルタイムに伝送し、警察本部、警察庁、首相官邸における迅速な情報収集等に貢献した。

対策名：34-4 警察情報通信設備等に関する対策<5か年加速化対策>【警察庁】

- 実施主体：警察庁
- 実施場所：北海道
- 事業概要：災害時に警察用航空機で撮影した映像を活用した組織的な災害情報収集体制を構築するため、災害現場から警察庁等へ映像を伝送するのに必要なヘリコプターテレビシステムの受信設備を整備する。
- 事業費：約1.8億円
(うち5か年加速化対策による事業費約1.3億円)
- 効果：青森県東方沖を震源とする地震に伴い、最大震度5弱を観測した北海道において、北海道警察航空隊は、5か年加速化対策にて整備したヘリコプターテレビシステムを有効に活用して、被災状況の確認を行うとともに、撮影した映像をリアルタイムに伝送し、警察本部、警察庁、首相官邸との迅速な情報の共有を図り、被災状況等の円滑な把握に貢献した。

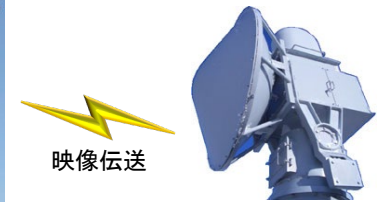
ヘリコプターテレビシステムを活用した被災状況の撮影



撮影映像



北海道警察
ぎんれい1号



ヘリコプター
テレビシステム
受信設備

飛行ルート概要(例)



気象庁公表資料を元に作成

映像伝送の概要

